②－２「本校における地域活性化への取組」

兵庫県立長田商業高等学校　教諭　佐々木あかね

１．はじめに



本校では、生徒たちの個性やモチベーションを高めるため、様々な活動を展開しています。本校商業科が昨今特に力を入れている取組の一つとして、地域活性化への取組がありますので、紹介させていただきます。

２．近年の取組

本校では、これまでに様々な活動を行ってきました。近年の取組として、①から③までの３点をご紹介したいと思います。一つ目は、①四季のみのりプロジェクトです。これは平成 23 年度に行いました。二つ目は平成 24 年度に行ったものですが、②地域商店街活性化のためのポスター作成の企画です。三つ目は③スクールキャラクターと関連商品を活かした地域活性化です。これは平成 24 年度からスタートし、今年度も引き続き実践しています。

本校の商業科では、主に３年生の課題研究と４年生の総合的な学習の時間で、地域活性化への取組を実践しています。この授業を担当する教員が、その年にどのような内容にするか一から考えることから始めています。そのため、この近年の三つの取組はそれぞれ別の教員が取組んだものとなっております。

① 四季のみのりプロジェクト

平成 23 年度に行った四季のみのりプロジェクトは、地域の農業研究を行ったところ、神戸市には農作物がいろいろあり、「安心安全な野菜作り」を目指した取組が行われていることが分かりました。自分たちの力で、たくさんの人に神戸市の安心安全な野菜を知ってもらいたいという思いを持ち、神戸野菜の PR を目的としたプロジェクトを立ち上げました。

①四季のみのりプロジェクト

地域（神戸市）の農業研究



神戸市の安心安全な野菜作りを PR するための方法として、野菜せんべいの開発を行う企画を立てました。

①四季のみのりプロジェクト

野菜せんべいの開発



野菜せんべいの開発をするにあたって、まず農家を訪問し、農家の方に教えてもらいながらせんべいに適した野菜選びを行いました。

それから、地域の和菓子屋に野菜せんべいの案と選んだ野菜の案を持ち込み、商品化へ向けて企画会議を行いました。

こうして完成したのが、神戸うすやきせんべい「四季のみのり」です。この商品の特徴は、おせんべいの表面にニンジンやミズナ、ワサビナ、シュンギクなどの葉っぱが見えるように張り付けてあります。パッケージデザインも生徒が考えたものです。

完成した四季のみのりは本校の販売実習と JA の販売所で販売し、神戸野菜の PR を行いました。地域の方に関心を持っていただき、お客さんが殺到して午前中に売り切れました。この取組が新聞やテレビで取り上げられ、神戸野菜の PR につながる活動となりました。

①四季のみのりプロジェクト

農家での実地研修



①四季のみのりプロジェクト

神戸うすやきせんべい「四季のみのり」



①四季のみのりプロジェクト

販売実習



①四季のみのりプロジェクト

地域和菓子屋との商品企画会議



② 地域商店街活性化のためのポスター作成

平成 24 年度に実施した 地域商店街活性化のためのポスター作成については、4 年生の総合的な学習の時間に行いました。4 年生の人数は 12 名で、ほとんどの生徒が昼間アルバイトをしています。

ポスターを作成するにあたり、まずデザイナーを講師として招き、ポスターデザインの授業を受講しました。

それから、豆腐を題材として発想法を学びました。まず豆腐の従来のイメージを出し、そこからイメージを逆転させて発想を広げるためのワークを行いました。

また、商店街のイメージについて KJ 法を行い、グループで商店街に関する発想を広げ、イメージを共有しました。

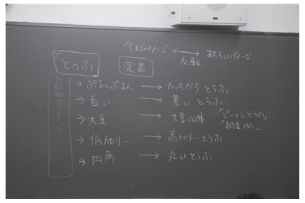
②地域商店街活性化のためのポスター作成

デザイナーによるポスターデザインの授業



②地域商店街活性化のためのポスター作成

グループワークによるポスター作成



商店街のことについて考えた後に、商店街店主から、商店街の現状と今後の課題についてお話をしていただき、高校生として商店街の活性化にどう関わっていくかについて話し合いを行いました。





生徒それぞれがポスターを作成する店舗を選び、パソコンで作成した名刺を持参して各店舗へ挨拶に伺いました。とても緊張している様子でしたが、礼儀正しい態度で店舗の方にお話を伺ったり、お店や商品の写真撮影を行いました。

撮影した写真、または手書きで書いたものをパソコンに取り込み色づけを行い、「肉、生きる力」、「オモチャ、どきどき」など、生徒自身が考案したキャッチフレーズを入れたポスターを完成させました。



完成したポスターを商店街に持っていき、店主にプレゼントしたところ、どの店舗でも好評で大変喜んでいただくことができました。お店の方に評価していただき、生徒の自信にもつながりました。現在もポスターはお店の目立つところに貼っていただき、販促活動に役立てていただいています。

③ スクールキャラクターと関連商品を活かした地域活性化

平成 25 年度は、昨年度から引き続き、スクールキャラクターを活かした地域活性化に現在も取組んでいます。現在の 4 年生が 3 年生のときからこの実践を行っています。

初めに、デザイナーを講師に招いてスクールキャラクターの作成に取組みました。色々なスクールキャラクターの案が出ましたが、本校の 80 周年記念のキャラクターで、「デンタくん」というキャラクターがもともとありましたので、デンタくんを活用することに決定しました。

デンタくんをキャラクターとして確立するために、「デンタくんはどんなキャラ？」と題して、イメージづくりを行いました。デンタくんの性格やプロフィール、エピソードなどを生徒

③スクールキャラクターを活かした地域活性化

スクールキャラクターの作成



③スクールキャラクターを活かした地域活性化



それぞれが考え、デンタくんのイメージをもとに色付けをしました。それらの作品の中から投票で選びました。

キャッチコピーは「計算はおまかせ！」です。デンタくんが男の子ということで、ブルーを基調とした色付けをしています。女の子をイメージして、ピンクを基調とした作品もありましたので、今後はデンタくんの彼女なども登場するかもしれません。

原画をもとにパソコンで色をつけました。商業高校らしく電卓をモデルにしたキャラクターです。背中に定規と鉛筆を背負っています。数字の５の部分ですが、ここが少し濃い色になっていたり、顔や手足、靴の色付けなど、細かいところにも工夫を凝らしています。

③スクールキャラクターを活かした地域活性化





商品化へ向けて背景に数字を付けたり、様々な案を出し合って、ノートとキーホルダーを完成させました。

今後はデンタくんを地域活性化にどのように活かしていくかを検討しているところです。現在提示している案の一つが、デンタくんグッズを販売して、その利益の一部を地域の活性化のために使用していくこと、もう一つはデンタくんの着ぐるみをダンボールで作成し、地域の祭りや行事に参加するという二つの案があります。これからデンタくんをどのように地域活性化に活かしていくかが課題となっています。